



外来機の騒音被害に対する抗議決議

5月16日の臨時会において、「米軍基地普天間飛行場へのFA18戦闘攻撃機の飛来に伴う騒音被害に対する抗議決議」を全会一致で可決し、在沖米国総領事館、沖縄防衛局、米海兵隊太平洋基地司令部へ抗議要請行動を行い、外来機の騒音被害について抗議しました。

ぎのわん 第83号

市議会だより

宜野湾市議会

宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 (098) 893-4411(内337)
印刷 株式会社東洋企画印刷



FA18戦闘機を含む外来機の騒音被害に対し、沖縄防衛局の森田企画部長へ要請を行う呉屋勉議長と宜野湾市議団

定例会の経過

2月	28日	議会運営委員会
	1日	会期の決定、所信表明、案件上程、説明
3月	6日	上程案件に対する質疑
	7日	質疑、委員会付託
	8、9、12日	常任委員会議案審査
	14日	中間表決(委員長報告)、議員全員協議会
	14、15日	福祉教育常任委員会
	15、16、19、21日	一般会計予算審議
	22、23、26、27日	一般質問(質問者18名)
	28日	各常任委員会の審査報告及び表決

介護保険料値上げ(月額800円) 条例改正案を賛成多数で可決!

基準額(月額)が「4,950円」から「5,750円」へ

3月 定例会 会期 3月1日～3月28日

第368回宜野湾市議会定例会は、3月1日から3月28日までの28日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成24年度一般会計予算や各会計予算を初め、宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例、副市長の選任についてなど、36件にわたる議案等が審議され、18名の議員による一般質問も行われました。

3月定例会 主な議案の 審議経過

平成二十四年度
一般会計予算

一般会計予算

可決

新年度一般会計予算は予算総額三百三十五億四千万円で対前年比四・四％の増、政策事業における総事業本数は新規事業十五本を含む百十九本となっております。

特に民生費で子どものための手当支給事業や介護保険特別会計繰出事業等の増が見込まれることから約二億七千五百円の増額、また、教育費では、はごろも小学校関連事業や、真志喜中学校屋内運動場・武道場増改築事業などで約十五億六千五百万円の増額となっております。

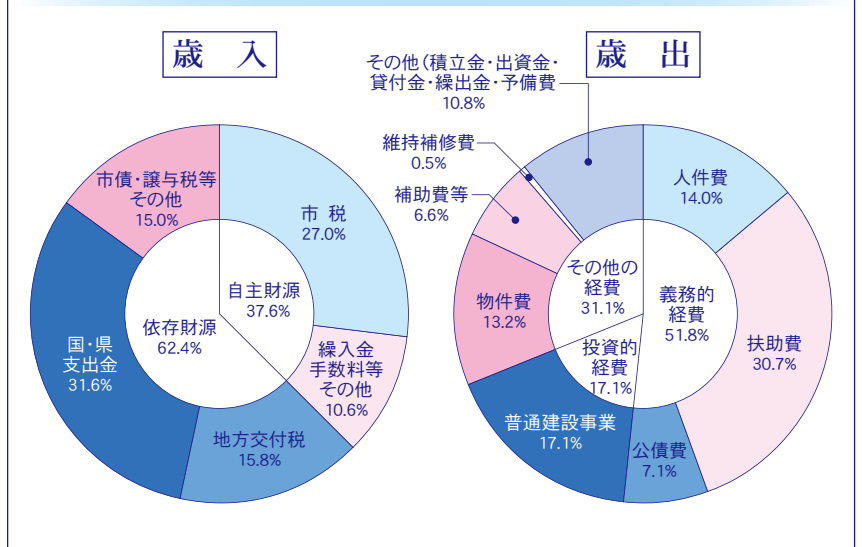
四日間にわたり行われた予算審議では、市制施行五十周年記念事業や市税の滞納繰越分、基地関係収入の推移、教育及び住民福祉等に関して多くの質疑がなされ、全会一致をもって原案可決されました。

平成24年度 各種会計別予算

(単位:千円)

会計名	予算額
一般会計	33,540,000
特別会計	
国民健康保険	12,440,876
介護保険	4,632,246
介護老人福祉施設等	355,324
後期高齢者医療	661,177
下水道事業	1,599,467
宇地泊第二土地区画整理事業	388,667
佐真下第二土地区画整理事業	537,408
合計	54,155,165
水道事業会計	
収益的、資本的収入	2,172,691
収益的、資本的支出	2,333,279

平成24年度 一般会計歳入歳出予算性質別の状況



介護保険条例の一部を 改正する条例について

可決

介護保険事業計画における保険料率等の見直しを図るため、第一号被保険者の保険料を基準額(月額)「四千九百五十円」から「五千七百五十円」に引き上げたいとの提案に対し、委員会審査では、介護給付費や認定率が年々伸びていく中で、介護保険料を上げないための対策をどのように講じていくのかとの質疑に対し、介護予防事業のメニューをふやし、より多くの特定高齢者が介護予防事業を受けられる体制づくりを行うとともに、健康な高齢者にも、さらなる健康づくりに向けた対策を講じたいとの答弁がなされております。そのほか、低所得者層の保険料抑制や、保険料が改定された場合の市民への周知方法等についても多くの質疑、提言等がなされ、表決に際しては、賛成及び反対討論もあり、三名退場のもと、賛成多数(反対一名)により原案のとおり可決されました。

食育推進会議条例の 制定について

可決

食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、食育基本法第三十三条の規定

に基づき、宜野湾市食育推進会議を設置するため、条例を制定したいとの内容であります。

審査では、食育推進会議を設置し、どのような計画、取り組みを展開していくのかとの質疑がなされ、食育推進会議のもとに各作業部会を設置し、食育基本法との整合性を図りながら、食育推進計画等の素案づくりに取り組んでいきたいとの答弁があり、全会一致で可決されました。

佐喜眞 淳 新市長 所信を表明

当選後初の議会となる第三六八回定例会の初日において、就任挨拶及び普天間飛行場の早期閉鎖、返還に向けての施策の推進、経済活性化に向けた支援、公立小学校の学校給食費無料化の実現、(仮称)複合型総合スポーツセンターの整備、市道宜野湾十一号の早期着手、防災体制の強化、(仮称)市政推進室の設置による行財政改革の推進について所信表明がなされました。

副市長に松川氏を選任

同意

平成二十四年二月十七日の米須清栄前副市長の辞任に伴

い、副市長に松川正則氏を選任したい旨の人事案件が提出され、起立採決の結果、起立多数(賛成二十五名、反対一名)により選任同意されました。



松川正則氏

第三六九回臨時議会

平成二十四年五月十六日に招集された臨時会は、宜野湾市税条例に関する専決処分や、宜野湾市国民健康保険税条例に関する専決処分を含む四件の議案が審議され、それぞれ全会一致で承認、可決されました。

議事事務局の人事異動

平成二十四年四月一日に議事事務局の人事異動が行われました。
局長 島袋幸盛(企画部)
課長 瀬名波稔
(学校給食センター) 議事係 野嶋博司(会計課)

よろしく願います。
なお、和田敬悟次長が企画部(昇任)へ、宮城秀樹議事係長が人事課へ異動となりました。大変お疲れさまでした。

問

質

一

般

答弁者

- 市長 佐喜眞 淳
- 副市長 松川 正則
- 教育長 宮城 茂雄
- 水道事業管理者 新田 宗仁
- 総務部長 伊佐 努
- 企画部長 宮平 良和
- 基地政策部長 山内 繁雄
- 福祉保健部長 玉那覇 豊子
- 市民経済部長 宮城 聡
- 建設部長 石原 昌次
- 指導部長 古堅 宗篤
- 会計管理者 國吉 秀子
- 教育部長 宮城 光徳
- 消防長職務代理者 大嶺 清光

今定例会は、18名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。紙面の都合上簡潔に掲載いたします。詳しい内容は、市議会会議録を自治会事務所や議会事務局に保管しています。さらに、市のホームページにも掲載いたしますので御利用ください。

海軍病院建設による本市への影響について



知念吉男議員

○議員 海軍病院がキャンブ瑞慶覧基地内に建設されることによって、市民にどのような影響があるのか、考えをお聞かせ願いたい。

○基地政策部長 北谷町を例にとると、一九九一年から日本人医師のインターンシッププログラムを実施しており、毎年六名の医師を、また看護学生を数名受け入れてもらっているというメリットも考えられる。

○議員 市長は、海軍病院と連帯して交流や高度医療特区をつくり、地域に還元すると言われたが、どのように進めるつもりなのか。

○市長 特区ということ、市から要請し、内閣府に了承していただくという手続きをとり、進めていく必要があると考えている。

○議員 海軍病院は新しい米軍基地の建設であり、嘉手納以南の基地返還にも矛盾し、私たち市民にとっても有害なもの、利益はないということを申し上げておきたい。

普天間飛行場問題について



我如古盛英議員

○議員 一日も早い危険性の除去及び県外への移設を沖縄県知事と連携し、日米両政府に強く訴えるということが所信表明にあるが、もう既に要請行動は行っているのか。

○市長 民主党の輿石幹事長、岡田副総理大臣、田中防衛大臣に対し、普天間飛行場の被害、住民の負担軽減に向けて、最大限の御理解、そして支援をしていただきたい。

○議員 要請書面の項目としてはなかったが、口頭でオスプレイ配備に対しては反対であるという旨の要望を出した。

○議員 市民、県民は佐喜眞淳新市長の所信表明の公約を見守っていると思うので、どうか普天間飛行場に関しては、早期閉鎖、返還、そして一日も早い危険性の除去、及び県外移設をしっかりと掲げて頑張ってください。

の要請を行った。
○議員 オスプレイ配備反対について、しっかりとした意思表示、要請を行ったかどうか、市長にお伺いしたい。

○市長 要請書面の項目としてはなかったが、口頭でオスプレイ配備に対しては反対であるという旨の要望を出した。

○議員 市民、県民は佐喜眞淳新市長の所信表明の公約を見守っていると思うので、どうか普天間飛行場に関しては、早期閉鎖、返還、そして一日も早い危険性の除去、及び県外移設をしっかりと掲げて頑張ってください。



MV-22オスプレイの前倒し配備が予定されている米軍基地普天間飛行場

読書活動推進計画と児童生徒の読書活動について



岸本一徳議員

○議員 読書活動推進計画の策定を以前から提案してきているのだが、その計画策定の進捗状況について確認をした。

○教育部長 読書活動推進計画の策定については、六回の策定委員会を経て素案を取りまとめ、三月十三日の定例教育委員会において提案し、承認を得ているところであり、年度内で印刷製本をし、議員

の方々に配付していく予定である。
○議員 読書活動推進計画の策定に向けて、予算がついていたのかどうか確認したい。

入札制度の見直しについて



宮城克議員

○議員 入札制度学習会についての進捗状況を説明していただきたい。

○総務部長 入札制度学習会から出された意見を集約し、市長の判断を仰ぎながら、具体的な改善、本市の入札制度のあり方について、協議を進めていくところである。

○議員 低入札調査価格制度を廃止し、新しく最低制限価格制度等、県と同様の入札制

度へ移行していただきたいと業者から声が挙がっているが、そのことについて市長の考えをお聞かせ願いたい。
○市長 費用対効果、メリット・デメリットを研究し、また自主財源獲得に向け、産業の育成、雇用拡大を市としてやらなければならないという前提も踏まえ、改善に向け鋭意取り組んでいく決意である。

○議員 本市から相当数の業者が撤退しているという数字が物語っているので、現行の入札制度は、早期に改善するべきであり、最低制限価格制度へ移行していただきたい。

青年会・婦人会 活性化の取り組み について



宮城勝子議員

◎議員 青年会及び婦人会の組織数並びに各連合会への加入状況についてお聞きしたい。

◎教育部次長 青年会については、十三団体が活動中であり、そのうち十二団体が連合会に加入している。また、婦人会については、十一団体が活動中であり、そのうち七団体が連合会へ加入している。

◎議員 昨年の六月議会において、両団体の活性化対策を

要望したが、その後の状況についてお聞きしたい。

◎教育部次長 婦人連合会への加入団体の減少については、他市町村においても対策に苦慮しており、生涯学習課を中心に地域づくり推進事業助成金を活用した研修会の企画等の支援を行っていききたい。

◎議員 青年会・婦人会の必要性についてどう考えているのか。

◎教育部次長 市のほとんどの事業において協力していたが、地域には欠かせない組織だと考えており、今後とも支援をしていきたい。

臨時教職員 の待遇改善 について



屋良千枝美議員

◎議員 本市の幼稚園に勤務する教職員及び臨時教職員の総数についてお聞きしたい。

◎総務部長 本務教職員が二十八名、臨時教職員が二十一名、計四十九名となっている。

◎議員 臨時教職員の給与は、日額支給となっているが、中頭地区において月額支給の市町村はあるのか。

◎総務部長 嘱託職員としての採用となっているが、西原

町、嘉手納町及び読谷村の三町村が月額支給となっている。

◎議員 臨時教職員の時間外手当、期末・勤勉手当及び教員特別手当等はあるのか。

◎総務部長 交通費の支給は行っているが、そのほかの手当の支給は行っていない。以前に、制度の改善を行い、無賞与のかわりに、日額分を増額した経緯がある。

◎議員 臨時教職員の給与と日額支給から月額支給への変更、もしくは嘱託員制度の適用はできないのか。

◎総務部長 嘱託員制度適用が可能か調査、研究したい。

防犯灯設置 の取り組み について



伊波一男議員

◎議員 防犯灯の設置については基準単価の二分の一を市で補助し、残りを設置する自治会が負担しているが、本市も都市化が進む中、自治会加入率が低下していることもあり、防犯灯設置費が自治会予算を大きく圧迫している。そこで、防犯灯設置を全額補助もしくは明確に七割、八割補助という形で年次の計画をもって取り組むべき時期が来

ていると思うが、考えをお聞かせ願いたい。

◎市民経済部長 全額補助もしくは三分の二まで補助できないかということだが、一括交付金、防衛省補助を活用できないか検討し、また実際補助を活用している自治体があるので、どのような手法でやっているか調査を行い、自治会の負担を軽減してまいりたい。

◎議員 防犯については市の責務も大きいので、防犯灯設置事業について、しっかりと全額補助まで持っていけるように取り組みをお願いしたい。



野嵩三丁目内に新設された防犯灯

予防接種対象 年齢引き上げ について



玉元一恵議員

◎議員 平成二十三年度子宮頸がん予防ワクチンの接種状況をお聞きしたい。

◎福祉保健部長 中学一年生から高校一年生までの合計で、接種者数が千六百六十人、七五・二％、二回目の接種者数が千五百三十五人、九二・五％となっている。

◎議員 規定回数の接種を行わずに高校二年生に進級した場合、接種に係る費用の負担

割合についてお聞きしたい。

◎福祉保健部長 平成二十四年度においても引き続き助成を行っており、平成二十三年度中に接種を行っていれば、助成の対象となる。また、負担割合については、自己負担分の一割を除いた九割の半分を国が負担し、残りは市のほうで負担している。

◎議員 接種対象が、中学一年生から高校一年生までとなっているが、高校三年生まで引き上げはできないのか。

◎福祉保健部長 財政的に可能かどうか市長と調整し、検討したい。

暴走族(ダサイ族) 根絶に向けた対策 について



比嘉憲康議員

◎議員 暴走族(ダサイ族)根絶に向けた本市の対策について伺いたい。

◎市民経済部長 暴走行為について苦情のメールも多く寄せられており、その都度、宜野湾警察署へ連絡し、対応をお願いしている状況である。

◎議員 暴走行為の取り締まりは警察だけでは手に負えない状態である。行政と警察が連携し、合同会議を持つなど

の体制づくりができないか。

◎市民経済部長 沖縄県警本部の動向等も見ながら、本市として何ができるのか検討してまいりたい。

◎議員 所信表明の中でも「世界一安全、安心なまちづくり」とあるが、当該問題に係る市長の見解を伺いたい。

◎市長 県警を初め、関係機関と連携を図り、行政として何ができるかも含め、一日も早い対策を講じてまいりたい。

◎議員 暴走族根絶については県全体の問題としてとらえ、県や県警とも一緒になって取り組んでいただきたい。



4月1日から「愛知区」へ区名変更になった19区自治会

「19区」の行政区名変更について



佐喜真進 議員

◎議員 十九区自治会にて、四十九年ぶりに「愛知」へ名称変更が決定し、変更申請がなされているが、その後の進捗状況について伺いたい。

◎総務部長 行政区名の変更には、本市の行政区設置規程の改正が必要であり、去る三月十三日に自治会からの変更申請を受理し、四月一日施行予定での当規程の一部改正作業を進めている。

◎議員 行政区名の変更は、議会の議決事項に該当するの

か。

◎市民経済部長 行政区名の変更に関しては、本市の行政区設置規程の一部改正のみで変更要件を満たしており、議会の議決は必要としない。

◎議員 今回の自治会名変更に伴い、市内の子供たちへの周知は、統一した見解を持って行うべきだと思うが、教育現場での対応について伺いたい。

◎指導部長 教職員一同連携し、保護者や子供たちへの周知を行っていききたい。

経済・産業・雇用の施策について



森田 進 議員

◎議員 市長の所信表明の中に「政府に対し所要の支援策を強く求め」とあるが、具体的にどういったことなのか。

◎市長 普天間飛行場は市民に対して不利益だけをこうむっている現状である。法律による一律の視点ではなく、宜野湾市の振興に向け、支援を受けられるよう政府に対し要求していききたい。

◎議員 度の問題解決に向けて企業代表を含めた勉強会を実施したが、今後の市長の考え方をお聞かせください。

◎市長 これまで四回の勉強会が開催されており、その報告も受けた上で、改善も含め、新年度に向けて取り組んでまいります。

◎議員 現行の入札制度導入の初期目的は達成されたと考えており、今後は最低制限価格を設けた制度で進めるべきと考える。市長も選挙で市内企業の育成、支援を約束しており、ぜひ市内企業が納得する形で進めていただきたい。

スーパーシルバーパスポート事業について



喜舎場保 議員

◎議員 現行の事業との具体的な違いについて伺いたい。

◎福祉保健部長 現行の事業は満六十五歳以上の方に市内公共施設等の利用料が免除になるシルバーパスポートカードの交付、七十五歳以上の方には同カード及び利用割引券を交付している。今後は割引券の利用促進に向けた環境づくりや、交付枚数の増加、交付対象者の拡大など、さまざま

な取り組みが考えられる。

◎議員 大変に期待されている事業でもあり、お年寄りが外に出ることで元気になる効果もある。さらなる普及と市内店舗への協力依頼に取り組んでいただきたいと考えるが、市長の見解を伺いたい。

◎市長 高齢者人口がふえる中、お年寄りが住みやすい街づくりに向け、担当部署とも調整し、シルバーパスポート事業の拡充・拡大にしっかりと取り組んでまいります。

◎議員 ぜひ、目に見える形で、ここがすばらしいと言える施策に変えていただきたい。

児童センターの建設について



米須清正 議員

◎議員 児童センターがない小学校区への児童センターの建設について、進捗状況をお聞きしたい。

◎福祉保健部長 普天間小学校、嘉数小学校、長田小学校は、各担当部署と調整し、企画部へ要望書の提出を行っている。今後も新市長と相談しながら進めていきたい。

◎議員 所信表明において、各小学校区への児童センターの建設を挙げているが、市長の今後の考えをお聞きしたい。

◎市長 財政的問題、用地の確保等課題が山積しているが、各自治会の意向を行政へ反映し、早目に建設ができるよう努力していききたい。

◎議員 児童健全育成巡回モデル事業である通称じゃんけんぼんの自治会での開催回数をふやすことは可能なのか。

◎福祉保健部長 各自治会において、利用時間帯をずらす必要があり、今後も調整し、推進していききたい。



我如古児童センター（平成22年6月1日開館）

海軍病院の建設に伴う本市の対応について



呉屋 等議員

◎議員 海軍病院の供用開始はいつごろか。

◎基地政策部長 平成二十五年春をめどに一部供用開始予定との確認をしている。

◎議員 今後、関連する施設建設の入札予定について、市は把握しているか。また、市内業者への優先発注について、国への要請は行っているか。

◎基地政策部長 入札予定等については現時点では具体的



外観工事が完成した沖米国海軍病院

に決まっていないとのことであり、また、市内業者への優先発注については、関係部署とも協議し努めてまいりたい。

◎議員 SACO関連事業は国の九割補助であり、浦添市が四十件の事業実施に対し、本市が二件というのは少ないと考えるが、再度、防衛省に働きかけてSACO関連事業を行うことは検討できないか。

◎市長 関連省庁と連携を図りながら、SACO関連事業として復活できるよう取り組んでまいりたい。

◎議員 本日に期待をしており、ぜひ進めていただきたい。

被災地の瓦れき受け入れについて



桃原 功議員

◎議員 東日本震災の復興支援として、被災地の瓦れきを広域で処理することが挙げられているが、焼却炉のない本市としてはどのような見解なのか。

◎市民経済部長 被災地の瓦れき受け入れについては、基本的に地域住民のコンセンサスを得るといことが大前提であり、周辺自治体、受け入れ施設の有無や、対応能力の

経済・産業・雇用の施策について



桃原 朗議員

◎議員 沖縄市で取り組んでいる住宅リフォームの支援事業は、市経済の活性化と雇安定の呼び水になっていると評価する声が挙がっているが、本市での事業実施も含め見解を伺いたい。

◎建設部長 昨今の厳しい経済・雇用情勢が続く中、緊急経済対策の一環として、予算の範囲内で経費の一部を市が補助することにより、地域経

問題も含め、瓦れきの処理が可能かどうか精査し、検討を行っていききたい。

◎議員 瓦れきの受け入れについては、安全面、環境面等で問題も多く、市長は受け入れを表明せず、沖縄らしい本市にしかできない支援を行うべきだと考えるが、いかがか。

◎市長 安全かつ住民の合意形成が得られるような状況でなければ、受け入れはできないという認識である。

◎議員 住民の合意形成を得るのは大切だと思うが、支援方法はほかにもたくさんあるので、今後も議論したい。

済の活性化を図り、住環境の向上に資する事業であるとの認識をしている。財源等の問題もあるため、関連部署と協議しながら検討していきたい。

◎議員 今後は、地域に根差した零細企業にも支援していくべきだと思つが。

◎市長 財源確保の点からも本市で取り組むことができるか研究させてもらいたい。

◎議員 基地があるがゆえに仕事がないという状況を変える意味でも、新たな雇用創出にもつなげる事業だと思つので、新市長にはぜひとも実施に向けて検討してもらいたい。

市立野球場の整備及び芝生張りかえについて



伊波秀男議員

◎議員 野球場の外野芝生の状態は、選手のけがにつながるような状態なのか、また、状況を把握していたのか。

◎建設部長 市は当該野球場の状況を認識しており、平成二十三年度に、外野部分の状態の悪い箇所の芝生張りかえを実施してきたが、まだ十分ではなく、日ごとの管理等によって改善をしていきたいと考えている。

◎議員 芝地改修において、大リーグ仕様である内外野天然芝化する考えはあるのか。

◎建設部長 既設野球場は外野のみ芝舗装であり、一般及び高校野球の大会等での使用もあることから、内外野芝生化について、今のところ考えていない。また、内野整備を平成十七年度に実施しており、内野の管理状況は非常によいとの声もいただいている。

◎議員 市民や子供たちにも安心安全に利用してもらえ、一日も早く球場の改修整備や芝生張りかえをお願いしたい。



外野部分の芝生整備を求められている市立野球場

学習等供用施設の整備について



土地安之議員

◎議員 新年度からの要綱改正により、地域負担額が軽減されるとのことであるが、それでも多額の準備金がないと公民館を建設できない。さらなる軽減策として、国への定率補助拡大に向けて、要請したことがあるのか伺いたい。

◎企画部長 現行制度では、基本的に沖縄に特化した補助ではなく、全国的な補助事業であるため、国へは本市の現

状を訴えて、定率補助以外でのかさ上げを要請している。

◎議員 一括交付金の活用や、貸付基金制度の設置は検討できないのか。

◎企画部長 一括交付金は、補助対象事業に該当しない位置づけがなされているが、用地に係る分は補助がないので、該当するか研究したい。

◎総務部長 社会福祉法人と同様な貸し付け手法が適正かどうか調査研究したい。

◎議員 新たな支援制度が構築できることを期待し、今後引き続き努力をしてもらいたい。



学習等供用施設建設の概算要求がなされた上大謝名自治会公民館

決議・意見書

五月十六日の臨時会終了後、議長を初めとする市議団（基地関係特別委員会）は、在沖米国総領事館、米海兵隊太平洋基地司令部、沖縄防衛局に直接抗議、要請を行いました。なお、去る五月三日未明から早朝にかけて普天間飛行場から発生した警報音に対しても、原因究明及び再発防止の徹底を要請しました。

○FA18戦闘攻撃機の飛来に伴う騒音被害に対する抗議決議及び意見書



全員協議会を開催

市の自治会活動の拠点施設として活用できる学習等供用施設建設に関して、地域自治



会の負担軽減に配慮した「学習等供用施設建設取扱要綱」の一部改正等を行うことについて、三月十四日に全員協議会が開かれ、市当局より要綱の改正案や改正後の建設費試算等の説明がありました。

交通安全議連 感謝状授与

日ごろから市内の安全安心なまちづくりに向けて積極的に協力している功績をたたえられ、宜野湾警察署より感謝状が贈られました。



米軍基地普天間飛行場へのFA18戦闘攻撃機の飛来に伴う騒音被害に対する抗議決議

米軍基地普天間飛行場は、市の中央部に位置する過密な基地であるため、日常的に米軍ヘリが凄まじい騒音を響かせ、市街地上空を旋回訓練し、市民は常に危険と隣り合わせの生活を余儀なくされている。SACO合意から16年を経過した現在でも、騒音被害は一向に軽減されることはなく、それどころか、ダイバートによる外来機の飛来の増加や、「騒音防止協定」で取り決めた夜間飛行制限も守られず、形骸化しており、市民は常に危険にさらされている状況である。

去る4月10日、市内の小学校において入学式が執り行われていたが、式典の最中もFA18戦闘攻撃機の離発着による爆音が発生し、普天間第二小学校を含む市内の小学校において、同式典が一時中断されたことは非常に遺憾である。

当日、市には、市内全域から1日だけで異例の29件の苦情が殺到し、その後も100デシベル以上の騒音が頻繁に発生しており、市民の不安や怒りは頂点に達している。

また、FA18戦闘攻撃機は、日本時間4月7日未明、米南部のバージニア州バージニアの住宅地区にあるアパートに墜落炎上する事故が発生したと報道されたばかりであり、事故発生後、墜落原因が明らかになされていない中、今回の飛来について市長が強く抗議したにもかかわらず、FA18戦闘攻撃機を含む外来機が米軍基地普天間飛行場において離発着を繰り返し、市民に騒音被害を与えていることについて、本市議会として断じて容認できるものではない。

よって、宜野湾市議会は9万4千人余の尊い市民の生命と財産を守る立場から、たび重なるFA18戦闘攻撃機を含むすべての外来機の飛来に対し、厳重に抗議するとともに、下記事項が速やかに実現されるよう強く要求する。

記

- 1.FA18戦闘攻撃機を含むすべての外来機の飛来を禁止すること。
- 2.米国におけるFA18戦闘攻撃機の墜落原因を速やかに究明し、公表すること。
- 3.「騒音防止協定」を厳守し、騒音被害の解消策を確立すること。
- 4.米軍基地普天間飛行場の即時閉鎖、早期返還を実現すること。

以上、決議する。

平成24年5月16日

沖縄県宜野湾市議会

市議会を傍聴してみませんか。

本会議は、一般に公開されており、傍聴受付で住所、氏名等の記入を行えば、どなたでも傍聴することができます。

六月定例会は、六月十二日（火）に開会予定となっております。

第368回宜野湾市議会定例会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第 2 号	平成23年度宜野湾市一般会計補正予算（第5号）	原案可決(全会一致)
議案第 3 号	平成23年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決(全会一致)
議案第 4 号	平成23年度宜野湾市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決(全会一致)
議案第 5 号	平成23年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決(全会一致)
議案第 6 号	平成23年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決(全会一致)
議案第 7 号	平成23年度宜野湾市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決(全会一致)
議案第 8 号	平成23年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計補正予算（第4号）	原案可決(全会一致)
議案第 9 号	平成23年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決(全会一致)
議案第 10 号	平成24年度宜野湾市一般会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 11 号	平成24年度宜野湾市国民健康保険特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 12 号	平成24年度宜野湾市下水道事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 13 号	平成24年度宜野湾都市計画宇地泊第二土地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 14 号	平成24年度宜野湾都市計画佐真下第二土地区画整理事業特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 15 号	平成24年度宜野湾市介護保険特別会計予算	原案可決(賛成多数)
議案第 16 号	平成24年度宜野湾市介護老人福祉施設等特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 17 号	平成24年度宜野湾市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 18 号	平成24年度宜野湾市水道事業会計予算	原案可決(全会一致)
議案第 19 号	宜野湾市税条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第 20 号	宜野湾市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決(賛成多数)
議案第 21 号	宜野湾市食育推進会議条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 22 号	宜野湾市水洗便所改造等資金貸付基金条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 23 号	宜野湾市民図書館条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 24 号	宜野湾市立博物館設置条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 25 号	宜野湾市立中央公民館の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 26 号	宜野湾市火災予防条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 27 号	宜野湾市消防手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決(全会一致)
議案第 28 号	宜野湾市水道局布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準等に関する条例の制定について	原案可決(全会一致)
議案第 29 号	伊利原市営住宅建替工事（A棟建築）の議決内容の一部変更について	同意(全会一致)
議案第 30 号	伊利原市営住宅建替工事（B棟建築）の議決内容の一部変更について	同意(全会一致)
議案第 31 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
議案第 32 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意(全会一致)
議案第 33 号	副市長の選任について	同意(賛成多数)
陳情第 25 号	漁業用燃油にかかる軽油引取税の免税等に関する国への意見書の提出を求める陳情	採択(全会一致)
陳情第 35 号	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	閉会中の継続審査
陳情第 36 号	沖縄戦遺族のDNA鑑定実施の国への要請	閉会中の継続審査
陳情第 37 号	住宅防音工事規定の見直し作業についての要請	閉会中の継続審査
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 20 号 宜野湾市入札制度に関する見直しについての要請 陳情第 36 号 沖縄戦遺族のDNA鑑定実施の国への要請 陳情第 37 号 住宅防音工事規定の見直し作業についての要請	承認 (総務常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 31 号 宜野湾市発注に係る公共工事に使用される生コンクリートについての「官公需適格組合」並びに「品質管理監査合格工場」への優先使用に関する陳情	承認 (経済建設常任委員会)
	閉会中の継続審査申し出について 陳情第 19 号 離婚後の親子の面会交流に関する法整備と支援を求める意見書の提出について 陳情第 21 号 就学援助制度の周知・拡充を求める陳情 陳情第 22 号 離島におけるがん患者支援対策推進を求める意見書の採択と県への働きかけを求める要請 陳情第 28 号 「幼稚園・就学前教育」準義務教育化・無償化要請制度設計の意見書提出に関する陳情 陳情第 29 号 「30名以下学級」早期完全実現に関する陳情 陳情第 30 号 学校給食センター移設統合反対に関する緊急要請 陳情第 33 号 平成24年度福祉施策及び予算の充実について 陳情第 35 号 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情	承認 (福祉教育常任委員会)

第369回宜野湾市議会臨時会付議事件一覧及びその結果

事件番号	事 件 名	議決結果
議案第 34 号	宜野湾市税条例に関する専決処分の承認について	承認(全会一致)
議案第 35 号	宜野湾市国民健康保険税条例に関する専決処分の承認について	承認(全会一致)
決議案第 8 号	米軍基地普天間飛行場へのFA18戦闘攻撃機の飛来に伴う騒音被害に対する抗議決議	原案可決(全会一致)
意見書第10号	米軍基地普天間飛行場へのFA18戦闘攻撃機の飛来に伴う騒音被害に関する意見書	原案可決(全会一致)